

令和5年1月18日開催時 各団体の取組状況

	令和4年度取組状況	令和5年度事業計画
刈谷医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種連携のためのスキルアップ研修(7月) ・BCP研修(11月) ・刈谷医師会と訪問看護との交流会(2月) ・老人クラブ等への出張講演 ・市民フォーラム(3月、刈谷・知立・高浜にて開催) テーマ【終活】 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所向けに介護の講座「がんばらない介護」(4月) ・市民向け向けに介護の講座「がんばらない介護」(7月) 介護に疲れた家族に向けた後方支援ベッドの確保 老人クラブに向けた講座や交流会など実施予定
刈谷市歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・施設訪問400件、在宅訪問100件程実施。電話で連絡をいただければ対応する。患者がどこに連絡したらいいかわからない人がいるため、食べるのが不便、食事が食べられなくなったら、歯科医へ連絡してほしい。 別紙1-1参照	刈谷市歯科医師会の訪問歯科診療利用者：令和3年度3名→令和4年度3名 令和4年に引き続き、件数増加に向けて取り組む。
刈谷市薬剤師会	<ul style="list-style-type: none"> ・えんjoyネット利用アンケートを実施。登録率15%弱だったが、もう少しあげていきたい。 ・勉強会が、災害時の医療、褥瘡、介護等幅広い内容となっている。 ・福祉健康フェスティバルに出展(コロナワクチンの抗体、血管年齢)。在宅や介護についてどこに相談すればいいのか分からない参加者が多い。薬局で相談してくれるので、最初の窓口として今後具体的に話ができるようになったらいいという話が出ている。 	欠席
刈谷豊田総合病院	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で急性期病院としての役割を考えるようになった。急性期の患者を受け入れることが第一優先だが、コロナ禍でコロナ病床が満床でリアルタイムに受け入れることが難しかった。入院に至らないよう、外来機能の強化、地域医療機関との連携を強化し、在宅で暮らせるように、地域連携パスの強化をする。 ・各種がん、CKD、糖尿病、心筋梗塞などのパスを結び、刈谷豊田総合病院に受診する間を地域の開業医が早めに手を打ち、入院に至らせないため、新規につなげていった。 ・コロナ禍で、面会の制限により在宅を希望する人が増えている。訪問看護や訪問診療、ケアマネに支援していただきながら、在宅へ今後もつなげていきたい。 ・急性期病院として、情報発信のための研修を開催する。 	急性期治療が必要な患者が必要な時に急性期治療が受けられる体制の整備。 乳腺外科と腎臓内科の医師不足の関係で受け入れを制限しているため、現在調整中。 在宅療養を継続できるよう、急性期病院として、地域連携パスを進めていく(今年4月から心不全の地域連携パスを開始)。 心筋梗塞や糖尿病等の他のパスも引き続き推進。 後期高齢者の心不全の罹患率、再入院率が多い中、再入院しないために地域のかかりつけ医との連携強化。 地域の医療従事者に向けて9、10月に研修を計画中。
社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問介護の記録をSNSを用いて共有している。ケアマネからの問い合わせにすぐに記録を確認して対応できるようになった。 ・ICTを用いて8市のプロジェクトで話をできるようにした。課題などの情報共有をしたいと思う。 	BCPの実施のために研修を受けたり、書類の作成をしたりしているが、不足している所が多いのが課題。令和5年12月には体制を構築できるようにしていく。 利用者の情報、避難所場所、利用者やヘルパーの住所、ケアマネや利用者に関わっている人との連携の強化。
刈谷・知立・高浜訪問看護ステーション連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護：刈谷10か所、知立5か所、高浜2か所、計17か所で連絡協議会を構成。Zoomでの会議や研修。 ・救急隊員の延命措置を望まない方への救急隊員の動きの明確化に伴い、改めて研修会を開催。DNARIは5月頃から動き始める。 ・訪問看護事業所は3～10人の小規模のところが多く、災害については横のつながりが弱い。有事に備え、多職種との連携強化のためにBCPについて話し合いたい。 別紙1-2参照	BCP(災害時)の推進。 今年度は訪問看護連絡協議会で横とのつながりを整える。 連絡協議会(刈谷・高浜・知立)の事業所数が今年度から増え、19か所に(1減3増)。 別紙1-2参照

令和5年1月18日開催時 各団体の取組状況

	令和4年度取組状況	令和5年度事業計画
刈谷市療法士連絡会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域リハビリテーション活動支援事業：講話1件、体力測定2件 ・生活機能向上訪問事業：実施済み9件、実施中7件 ・福祉健康フェスティバルに出展（パンフレット、介護予防に関する冊子配布及び説明）：40人程参加 <p>えんjoyネット刈谷のアンケートを実施。今後少しずつ施設利用が増えることを期待。</p> <p>別紙1-3参照</p>	別紙1-3参照
刈谷市ケアマネ連絡会	<ul style="list-style-type: none"> ・刈谷市介護保険事業計画、刈谷市高齢者福祉計画懇話会（4回）、刈谷市要保護者対策地域協議会、刈谷市福祉有償運送運営協議会、刈谷市住宅医療・介護連携推進協議会（2回）、刈谷豊田総合病院と介護支援専門員との連携会議（2回） 	昨年度と同様に研修や勉強会を開催、参加していく。
愛知県歯科衛生士会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケア対応歯科衛生士要請事業研修会（3回）、地域リハビリテーション専門職育成事業、本会研修会 ・歯科衛生士は、診療所に勤務する人が多いが、最近では訪問診療、管理栄養士、訪問看護と連携をとることが多いため、そのための勉強会やリハ職の先生に話を聞く場を設けている。 	地域包括に関係する衛生士、口腔ケア関係する歯科衛生士は衛生士全員がやるわけではなく、一部がこのような事業に関わっている。地域包括ケア対応歯科衛生士養成事業が、専門的口腔ケア対応人材養成事業が3年ほど前から愛知県より委託を受け始まっている。該当地区の地域包括ケアシステムの現状・介護予防、要介護の現状の把握をし、実践研修として技術演習や在宅訪問診療の症例の提供、地域ケア会議の助言、困難例の検討を通し勉強会をしている。介護予防専門職派遣システムで登録した衛生士の派遣を行っている。愛知県の介護予防に関する市町村の支援アドバイザー養成研修に参加。専門的口腔ケア介護人材育成の講座の参加人数が課題になっている。今後も踏まえて衛生士の育成に力を入れていく。
地域包括支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の虐待、困難事例について各地域型包括の後方支援。 ・高浜市の医介携の交流会を視察。高浜市は顔をつなぐ交流会を目的としている。 ・ケアマネ交流会を2月に実施予定。 ・雁が音地域包括支援センターと認知症初期集中支援チームとは別に中野医院による月1回の情報共有を行っている。抱えている困難ケースの相談をして、訪問診療やアドバイスをもらっている。 	令和4年3月に刈谷病院のフルカワ先生を招き、酒と精神に関する講座を開催。令和5年度は別紙1-4参照。 総合相談支援業務 住み慣れた地域で生活できるようケアマネ、主治医、関係機関と連携するために介護予防に関する情報の紹介、つなぎ役を務めている。 介護予防ケアマネジメント業務（支援1, 2に支援） 権利擁護業務（虐待通報窓口） 地域ケア会議や生活支援体制整備事業、認知症総合支援事業など。 基幹型は6か所の地域型の後方支援。
衣浦東部保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度から、ケアマネ・事業所向けに介護保険を利用する患者に向けて病院の窓口一覧を作成。 ・地域医療構想推進委員会を定例的に実施。大介護時代に向けて、急性期ではなく慢性期やリハビリテーション等回復期にお金を回せるよう、病床数の適正化を目的に地域医療構想の活動を行っている。 ・難病患者の支援を実施。家族の介護力が低い家庭での検討も実施してきた。ICTを積極的に使いながらACPの情報共有を行っている事例もあるため、積極的に取り組みを実施していきたい。また、災害発生時に自家発電機をもって自分で数時間耐えられるよう、自助のお願いをしている。 	欠席